

啓北

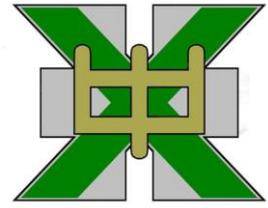
苫小牧市立啓北中学校 学校通信
令和2年7月1日（水）発行

《学校教育目標》

- やり通す
- 協力する
- 前進する

啓北中四本柱

- ・挨拶励行
- ・環境美化
- ・私語撲滅
- ・時間厳守



1学期の締めくくりに

校長 前田 勝也

社会的には新型コロナウイルス感染防止の規制が徐々に緩められてきていますが、学校は授業再開後も毎朝登校時間に合わせて、職員が玄関で生徒の体温確認と手指の消毒指導を行っています。下校後には教室の消毒作業も継続し、安心できる学校環境の維持に努めるなど「新しい生活様式」を取り入れるために必要な対応を行っているところです。当然のことになりますが、学校の取組だけで感染防止が図られるわけではありません。特に「朝の検温とマスクの着用」は習慣化されるよう、今後ご家庭での生徒への声かけと協力をお願いします。

さて、感染拡大防止に努めつつ、学校生活上の制約を緩和させる方向で様々な検討を行ってきました。先週から昼休みには、体育館や図書室の開放などを決め、学級ごとに使用日を割り当てています。生徒会活動も、各委員会の活動内容が中央委員会でも承認され、生徒の活動、その範囲を少しずつ広げているところです。「変えるべきところは変えて、新たなスタイルをつくり、日常に取り入れる」その過程でも、生徒自らが考え判断し行動できる場面を増やしていきたいと考えています。

今月は学習面でも9教科の授業を優先にした時間割編成を行いました。各教科が1年間に実施する。（行わなければならない）授業時数は「標準授業時数」として学習指導要領に定められています。各教科は、この「標準授業時数」を4月から3月末まで1年間をかけて達成できるように年間の指導計画を立てます。「学習内容を1年間で終え、定着させるのに必要な時数が標準授業時数」と言い換えることもできます。

今学期は5月の休校で予定されていた学校行事も中止、延期となりました。本来であれば行事の準備、実施等に当てられる時間も「教科の時間」として設定しなければならず、その結果9教科の授業が多く組み込まれた時間割が続きました。長期休業の短縮もあり各教科ほぼ計画取りの進捗となっています。ですが生徒にとっては、窮屈な思いで過ごした6月となってしまったようです。

2学期に延期、予定されている学校行事がどう扱われるかについては、今後決定され次第お知らせします。同時に学校全体の年間計画も改めて見直しが必要となります。学校としては、可能な限り行事と教科とのバランスにも配慮した計画編成に努める考えでいます。学校再開の朝に、生徒会長の西村君が「今があるのは休校があったからと思えるように、全校で乗り越えていこう」と生徒たちに呼びかけました。その実感が残せる7月であってほしいと願う毎日です。